

# 静岡松涛タイムス 第55号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：滝田宏平

連絡先：0547-36-1238(TEL) 0547-36-1293(FAX)

E-mail：kouheichan@tiara.ocn.ne.jp

URL: <http://www.shizuoka-karate.com/> (公式 HP)

<http://www4.tokai.or.jp/sougou/> (広報部)

## 平成 24 年 年頭所感【新年を迎えて】



新年明けましておめでとうございます。皆さん家族とともに希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。昨年は暗いニュースが多く2月22日ニュージーランド地震、3月11日東日本大震災、10月23日トルコ地震と大規模の災害が相つぎ、又中東のアラブ諸国では大規模な政府デモや抗議活動が続き、タイでは大洪水に多くの被害がでました、3月11日の震災に対する東京電力福島第一原発事故で政府の対応のまずさの指摘があり、世界中を揺るがす出来事が特に多い一年でした。 昨年は各支部指導の技術の向上、型指導において基本的な意味の違いがないように指導者の講習会を重ねて技術の向上に役立てたいと考え、又車椅子の型の講習会も行い多数の人に参加してもらいました。今年も車椅子講習会を多くの指導員の皆様方に覚えてもらい、多くの人に広めて行き NPO 法人の価値ある団体に成長していければと思います。継続は力なり、何事にも修行には忍耐と素直な心、更に前へ進む気構えが必要です。修練の積み重ねが技の上達、辛くても続ける心を育て、新たに先を目指す心を確かめ皆様と共に精進して目標に向かっていきましょう。今年も昨年同様、会員拡大(車椅子空手)、技術の向上、礼節、人を思いやる心を目標に掲げ皆様と共に頑張っていく所存であります。皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、この一年よろしく御願い申し上げますと共に、新年の御挨拶とさせて戴きます。(静岡県本部長 稲毛 隆)

## 第 12 回中部地区空手道選手権大会



平成 23 年 11 月 3 日(日)に、焼津総合体育館(シーガルドーム)にて、第 12 回中部地区空手道選手権大会が開催され、500 余名の選手が、朝から熱戦を繰り広げました。当日の天気は、曇り空で秋晴れの晴天というわけではありませんでしたが、会場内は、朝から熱気に包まれ、選手たちのやる気・元気が開会式前からひ

しひしと伝わってきました。開会式に続いての型の試合では、幼年選手・小学校低学年であっても上位入賞者は、決め・スピードがあり、空手の技術が身についていると同時に、あいさつ・態度もしっかりできており、空手という道を通じて体の鍛錬だけでなく、こころも鍛えられていると感じます。元気がよく、礼儀正しい選手を観ていると、観ているほうもパワーをもらった気持ちになります。昼食後の、総本部指導員の松江・牧田両先生の模範演武には、少年・少女の熱いまなざしが注がれ、いつかは、両先生のようになりたいというあこがれ感で子供たちの目が輝いていました。組手の試合でも、午前引き続き熱戦が多く観られました。紙一重の勝負の中で勝利を手にするものは、相手よりも気迫が勝っている方、引手、引き足等の基本技術がしっかりしている方でした。空手道に限りませんが、基本を大切に、継続的な反復練習をすることこそが、上達への近道ではないかと思えます。最後に、今年は 500 余名の多くの選手が参加しましたが、一般成人の選手が以前ほど多くなかったことが、気になります。厳しい社会状況のなかで、趣味として空手道続けることは以前よりも難しいかもしれません。しかし大人も子供も楽しめる空手道、大会の勝ち負けだけでなく、健康増進、精神面の鍛錬等をアピールして、松涛連盟空手道のすそ野が広がり、来年はより多くの選手が参加できればと願っております。(レポート：焼津支部 岩本 弥三郎)

## 第 10 回藤枝精誠館支部大会・第 2 回浜松律誠館交流大会



11 月 12 日(土)に静岡県武道館にて第 10 回藤枝精誠館支部空手道大会・第 2 回浜松律誠館交流大会が開催されました。「優勝目指して闘い抜く事を誓います」夏賀沙弥華選手と僕の選手宣誓で始まった藤枝精誠館・浜松律誠館支部大会。僕は自分で宣言したからには型・組手で両方優勝したいと思いました。午前は型。僕の出番が来るまでは「優

勝する」この言葉しか頭にありませんでした。僕が主審の前に立った時には「全力でやる」と自分に言いかけさせていました。得意型は「岩鶴」。中部地区大会で失敗したところも、今回はしっかり決める事ができました。審判の点数が出ると後ろから拍手が聞こえてきて、びっくりしました。結果発表の時、最初に名前を呼ばれた僕は嬉しくて、大きな声で返事をして前に出ました。午後は組手。決勝まで残る事ができました。でもあと一步のところまで負けてしまい、優勝はできなかったけれど、気持ちだけは負けていませんでした。選手宣誓と一緒にやった夏賀選手は型・組手とも優勝と聞いて、僕は少し悔しかったです。この悔しさを忘れずに佐藤先生の教えをよく聞き、毎日の稽古を頑張っていきたいです。そして来年こそは、型・組手両方で優勝したいです。(レポート：藤枝精誠館支部 杉山智彦)

## 東海北信越地区技術講習会及び昇段・資格審査会



11 月 13 日(日)に静岡市北部体育館にて、東海北信越地区技術講習会及び昇段・資格審査会が執り行われた。会場には早朝より東海北信越ブロックに所属する大勢の会員が集まり、開始前だというのに熱気が高まった。本講習会には、総本部より、主席師範の香川政夫先生をはじめ総本部指導員の松江・牧田両先生が講師として招かれた。香川主席

師範は、全日本ナショナルチームの監督も兼務されており、その技術力・指導力は絶大で、世界的規模で空手界に影響を与え No1 として、注目されている。今回、講義の中心となった「ウンスー」だが、型をおこなう為の基本動作があった。香川師範は「木を見て森を観ずではいけません、基本動作による組み立てをしていって初めて全体が完成する事を忘れてはいけません」と、難易度の高い型を、受講者にわかり易く解説していただいた。昼食をはさみ午後の講義となったが、松江・牧田両指導員による古典型の講義に並行して、別室にて 4・5 段の審査と資格審査会がおこなわれた。こちら審査長の香川主席師範を中心に審査が進められ、受審者一人一人に香川師範よりアドバイスをいただき、心地よい緊張感につつまれた審査会であった。毎年秋に開催される本講習会だが、内容から考えて有段者には欠かせない、有段者必修の講習会だと思う。是非、次回も大勢の参加があることを、心から願う。

## 第 3 回龍勢空手道大会



平成 23 年 11 月 27(日)に岡部支部主催による、第三回龍勢空手道大会が、藤枝市岡部町朝比奈地区、いきいき交流センターによって行なわれました。出場支部は、大井川支部、島田支部、西焼津支部、青島支部、瀬戸谷支部、高洲支部、将陽館支部、焼津支部、精誠館支部、そして岡部支部を入れ、10 支部となり出場選手数は、123 名となりました。試合種目は、基本・型・



組手の 3 種目。基本試合は、まだ型・組手が出来ない無級の選手が、突き・蹴りを各 10 本ずつ技を出し、勝敗を競い、大きな気合がホールに響きました。この大会の主旨は底辺の底上げを目的とし、まだ大きな大会には出場できない子供達が気楽に参加でき、更には若手指導者の審判技術の向上を主眼として行なわれました。大会運営は、岡部支部指導者で行いましたが、不慣れな為、各支部の先生方には大変ご迷惑をおかけしました事を、この場を借りてお詫びとともに、お礼を申し上げます。又当日、コート係をして頂いた各支部の、父母の方々にも厚くお礼申し上げます。最後に龍勢大会の目玉、支部長賞を紹介させていただきます。当日の MVP を各支部から 1 名ずつ各支部長が決め、ひと際大きなトロフィーが渡されます。優勝メダルよりも、このトロフィーが欲しい子供達が多いようです。トロフィーを抱え、誇らしげにしている子供達を見ると、大変ながらも、やって良かったと思います。また来年も成長した子供達の姿を、今から楽しみにしております。(レポート：岡部支部琉芳会 増田 公一)